

2007 年度

科目名 環境と社会（総合講座）A	対象学科・学年 文学部日文2 回生 文学部英米2 回生 文学部文財2 回生 人間人社2 回生	担当者 大久保 ゆり
授業テーマ エネルギーから考える持続可能な発展		
授業の概要と目標 私たちが日々行う経済活動には多くのエネルギーが必要です。日本ではこのエネルギー源の多くを化石燃料及び原子力に頼っていますが、大気汚染、地球温暖化の促進など、様々な環境問題を引き起こしています。授業では、まず私たちの生活とエネルギーとのかかわりを学び、世界各地で始まった自然エネルギーへの転換の動きについて勉強します。		
評価方法 出席、授業中に書いてもらう感想、レポート		
テキスト	著者	出版社
参考書 ・「自然エネルギー市場―新しいエネルギー社会のすがた」 ・「自然エネルギーが地域を変える―まちづくりの新しい風」 ・「森林バイオマス―地域エネルギーの新展開」 ・「環境税―税財政改革と持続可能な福祉社会」 ・「風をつかんだ町―クリーンエネルギー・自然の財宝を掘りあてた岩手県葛巻町の奇跡」	著者 飯田 哲也（編集） 佐藤 由美 NPO 法人 SDG, 伊那谷森林 バイオマス利用研究会（編集） 足立 治郎 前田 典秀	出版社 築地書館 学芸出版社 川辺書林 築地書館 風雲舎
授業スケジュール・内容 1. 私たちの暮らしとエネルギー（1）暮らしを支えるエネルギーはどこからきているか？ 2. 私たちの暮らしとエネルギー（2）エネルギー消費と環境負荷 3. 市民が進める自然エネルギーへの転換（太陽光発電・風力発電） 4. 里山保全とバイオマスエネルギー 5. 地球温暖化防止：自然エネルギーを普及させる政策 6. 地球温暖化防止：温室効果ガスを削減させる政策―環境税と排出量取引 7. 日本の地球温暖化防止政策と今後の課題 授業ではレジュメのプリントを配布し、スライドなど写真、図を使いながら解説する。テキストは指定しないが、参考書は読むほうが望ましい。		